

資料 2

## 第 2 回鹿児島県犯罪被害者等支援条例検討委員会

2 鹿児島県犯罪被害者等支援条例（素案）



# 鹿児島県犯罪被害者等支援条例（素案）

## I 総則

### 1 条例の目的

犯罪被害者等支援に関し、基本理念を定め、並びに県、県民、事業者及び民間支援団体の責務を明らかにするとともに、犯罪被害者等支援に関する施策の基本となる事項を定めることにより、犯罪被害者等支援を総合的かつ計画的に推進し、もって犯罪被害者等が受けた被害の早期の回復及び軽減並びに犯罪被害者等の生活の再建を図り、誰もが安心して暮らすことができる地域社会の実現に寄与することを目的とします。

### 2 定義

この条例における用語の意義を定めます。

- (1) 犯罪等  
犯罪及びこれに準ずる心身に有害な影響を及ぼす行為
- (2) 犯罪被害者等  
犯罪等により害を被った者及びその家族又は遺族
- (3) 犯罪被害者等支援  
犯罪被害者等が、その受けた被害を回復し、又は軽減して、再び平穏な生活を営むことができるようにするための取組
- (4) 事業者  
県内で事業を営む個人又は法人その他の団体
- (5) 二次的被害  
犯罪等による直接的な被害を受けた後に、周囲の者による理解又は配慮に欠ける言動、インターネットを通じて行われる誹謗中傷、報道機関による過剰な取材等により、犯罪被害者等が受ける精神的な苦痛、身体の不調、名誉の毀損、私生活の平穏の侵害、経済的な損失等の被害
- (6) 民間支援団体  
犯罪被害者等早期援助団体その他の犯罪被害者等支援を行う民間の団体

### 3 条例の基本理念

犯罪被害者等支援の推進に当たっては、次に掲げる事項を基本とします。

- (1) 犯罪被害者等支援は、全ての犯罪被害者等の個人としての尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい処遇を保障される権利が尊重されることを旨として行われること。

- (2) 犯罪被害者等支援は，犯罪被害者等が犯罪等により受けた被害又は二次的被害の状況及び原因，犯罪被害者等が置かれている状況その他の事情に応じ，適切に行われること。
- (3) 犯罪被害者等支援は，犯罪被害者等が安心して暮らすことができるよう，必要な支援が途切れることなく提供されることを旨として行われること。
- (4) 犯罪被害者等支援は，国，県，市町村，民間支援団体その他の犯罪被害者等支援に関係するものによる相互の連携及び協力の下，誰もが安心して暮らすことができる地域社会の形成を図ることを旨として推進されること。

#### **4 県の責務**

県は，基本理念にのっとり，国，市町村及び民間支援団体との適切な役割分担を踏まえて，犯罪被害者等支援に関する施策を総合的に策定し，及び実施します。

#### **5 県民の責務**

県民は，基本理念にのっとり，犯罪被害者等が置かれている状況及び犯罪被害者等支援の必要性について理解を深め，二次的被害が生じることのないよう十分に配慮するとともに，県が実施する犯罪被害者等支援に関する施策に協力するよう努めるものとします。

#### **6 事業者の責務**

事業者は，基本理念にのっとり，犯罪被害者等が置かれている状況及び犯罪被害者等支援の必要性についての理解を深め，その事業活動に伴う二次的被害の防止及び従業員である犯罪被害者等の就労に十分配慮するとともに，県が実施する犯罪被害者等支援に関する施策に協力するよう努めるものとします。

#### **7 民間支援団体の責務**

民間支援団体は，基本理念にのっとり，犯罪被害者等支援に関する専門的な知識及び経験を活用し，犯罪被害者等を支援するとともに，県が実施する犯罪被害者等支援に関する施策に協力するよう努めるものとします。

#### **8 市町村に対する支援**

県は，犯罪被害者等支援において市町村が果たす役割の重要性に鑑み，市町村が犯罪被害者等支援に関する施策を策定し，及び実施しようとするときは，必要な情報の提供，助言その他の必要な支援を行うものとし

ます。

## **9 推進体制の整備**

県は、国、市町村、民間支援団体その他の犯罪被害者等支援に関係するものと連携し、及び相互に協力して犯罪被害者等支援を推進するための体制を整備するものとします。

### **10 緊急支援の実施**

県は、県内において犯罪等により死傷者が多数に上る事案その他の重大な事案が発生した場合において、当該事案の犯罪被害者等に対し直ちに支援を行う必要があると認めるときは、市町村その他犯罪被害者等支援に関係する機関及び団体と協力して、当該事案に対応するための支援の態勢を整え、必要な緊急の支援を実施します。

### **11 計画の策定**

- (1) 県は、犯罪被害者等支援に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、犯罪被害者等支援に関する計画を定めるものとします。
- (2) 計画は、次に掲げる事項について定めるものとします。
  - ア 犯罪被害者等支援に関する施策についての基本方針
  - イ 犯罪被害者等支援に関する具体的施策
  - ウ ア及びイのほか、犯罪被害者等支援に関する施策を推進するために必要な事項
- (3) 県は、計画を定めるに当たっては、あらかじめ、県民の意見を反映するために必要な措置を講ずるものとします。
- (4) 県は、計画を定め、又はこれを変更したときは、遅滞なく、これを公表するものとします。
- (5) 県は、毎年度、計画に基づく施策の実施状況を公表するものとします。

### **12 財政上の措置**

県は、犯罪被害者等支援に関する施策を推進するために必要な財政上の措置を講ずるよう努めるものとします。

## II 犯罪被害者等支援に関する基本的施策

### 1 相談及び情報の提供

県は、犯罪被害者等が日常生活又は社会生活を円滑に営むことができるようにするため、犯罪被害者等が直面している各般の問題について相談に応じ、必要な情報の提供、助言、犯罪被害者等支援に精通している者の紹介その他の必要な施策を講ずるものとします。

### 2 経済的負担の軽減

県は、犯罪被害者等が受けた被害による経済的負担の軽減を図るため経済的な助成に関する情報の提供、助言その他の必要な施策を講ずるものとします。

### 3 保健医療サービス及び福祉サービスの提供

県は、犯罪被害者等が心理的外傷その他犯罪等により心身に受けた影響から回復できるようにするため、その心身の状況等に応じた適切な保健医療サービス及び福祉サービスが提供されるよう必要な施策を講ずるものとします。

### 4 安全の確保

県は、犯罪被害者等が更なる犯罪等による被害又は二次的被害を受けることを防止し、その安全を確保するため、一時保護、施設への入所による保護、防犯に係る指導、犯罪被害者等に係る個人情報の適切な取扱いの確保その他の必要な施策を講ずるものとします。

### 5 居住の安定

県は、犯罪等により従前の住居に居住することが困難となった犯罪被害者等の居住の安定を図るため、県営住宅への入居における特別の配慮、一時的な利用のための住居の提供その他の必要な施策を講ずるものとします。

### 6 雇用の安定

県は、犯罪被害者等の雇用の安定を図るため、犯罪被害者等が置かれている状況及び犯罪被害者等支援の必要性について事業者の理解を深めるための啓発その他の必要な施策を講ずるものとします。

### 7 保護又は捜査の過程における配慮

県は、犯罪被害者等の保護又はその被害に係る刑事事件の捜査の過程において、名誉又は生活の平穩その他犯罪被害者等の人権に十分な配

慮がなされ、犯罪被害者等の負担が軽減されるよう、必要な施策を講ずるものとします。

## **8 県民の理解の増進**

県は、犯罪被害者等が置かれている状況、犯罪被害者等支援の必要性及び二次的被害の防止の重要性等について県民の理解を深めるため、広報、啓発、教育の充実その他の必要な施策を講ずるものとします。

## **9 学校における教育**

- (1) 県は、学校において、犯罪被害者等が置かれている状況、犯罪被害者等支援の必要性及び二次的被害の防止の重要性等について理解を深めるための教育が行われるよう、必要な施策を講ずるものとします。
- (2) 県は、犯罪被害者等が児童又は生徒であるときは、当該犯罪被害者等の状況に応じた十分な配慮を行うよう努めるものとします。

## **10 人材の育成**

県は、犯罪被害者等支援の充実を図るため、犯罪被害者等支援を担う人材を育成するための研修その他の必要な施策を講ずるものとします。

## **11 民間支援団体に対する支援**

県は、民間支援団体の活動の促進を図るため、犯罪被害者等支援に関する情報の提供、助言その他の必要な施策を講ずるものとします。

## **12 個人情報適切な管理**

県、事業者、民間支援団体その他犯罪被害者等支援に関係するものは、犯罪被害者等支援における個人情報の重要性を認識し、犯罪被害者等及びその関係者の個人情報を適切に取り扱うものとします。